

GSJ 地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース

2021
12
Vol.10 No.12



12月号

-
- 299 西之島からの贈り物：小笠原群島への漂着物 中野 俊
-
- 306 地質標本館での日本人名由来鉱物の展示（補遺） 佐脇貴幸
-
- 307 海外自然史博物館紹介シリーズ（その2）
ロシア科学アカデミー，極東地質研究所の展示室訪問（1995年，ウラジオストックでの WRI-8（第8回 岩石－水相互作用に関する国際会議）開催時） 柳澤教雄
-
- 314 「ナウマンから神足勝記への指示書」の発見とその意義
大澤 覚・山田直利・矢島道子
-
- 322 GSJ Webinar 2021：概要報告
伊尾木圭衣・牧野雅彦・後藤孝介
-
- 325 GSJ 地質ニュース 総目次 2020年1月号～12月号
-

ゼロエミッション社会実現に向けた CCS における産総研の取り組み

開催日時

2022 年

2/10 木

13:00 ~ 17:15

▶ 配信開始: 12:30 を予定しております。

Zoom を用いたオンライン開催 

世界的な社会課題である脱炭素社会の実現における CO₂ 地中貯留の重要性を踏まえ、本シンポジウムでは、貯留した CO₂ の低コストでのモニタリング技術、水理-力学連成解析技術、地化学反応速度測定技術等を中心に、招待講演を交えて最新の研究動向を報告します。なお、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインのみでの開催とさせていただきます。

プログラム

13:00 ~ 13:05	開会挨拶	副研究部門長 相馬 宣和
13:05 ~ 13:30	地圏資源環境研究部門 部門紹介	研究部門長 今泉 博之
13:30 ~ 14:10	産総研における CO ₂ の地中貯留および鉱物化に関する研究開発の課題と展望	CO ₂ 地中貯留研究グループ長 徂徠 正夫
14:10 ~ 14:55	【招待講演】 苫小牧 CCS 実証試験を通じた CO ₂ 貯留技術に関する考察	日本 CCS 調査株式会社 取締役貯留技術部長 萩原 利幸
14:55 ~ 15:40	ポスターセッション	
15:40 ~ 16:10	CO ₂ 地中貯留における水理/力学的視点からの軟岩の特性評価	CO ₂ 地中貯留研究グループ 藤井 孝志
16:10 ~ 16:40	重力・自然電位を用いた低コストモニタリング技術の開発	CO ₂ 地中貯留研究グループ 堀川 卓哉
16:40 ~ 17:10	地球物理シミュレーションと貯留層モニタリング設計	CO ₂ 地中貯留研究グループ 加野 友紀
17:10 ~ 17:15	閉会挨拶	地質調査総合センター長 中尾 信典

参加申込み方法

- ▶ 事前登録制 / 参加費無料 (定員 500 名)

地圏資源環境研究部門のホームページ (<https://unit.aist.go.jp/georesenv/>) にアクセスし (地圏資源で検索、または右記の QR コードからもアクセス可能です。) 事前の参加申し込みが必要になります。必要事項を入力しお申し込みください。

本シンポジウムは Zoom を用いて開催します。お申し込み頂いた方には、成果報告会の前日までに Zoom への参加方法を記載した招待メールをお送りさせていただきます。



- ▶ 申込み締切日: 2022 年 2 月 4 日 (金) 17 時まで
- ▶ ジオ・スクーリングネット: CPD (4 単位) の取得が出来ます。
単位取得希望の方は、申込時に CPD の項目にチェックを入れてください。

お問合せ



〒 305-8567

茨城県つくば市東 1-1-1 第 7 事業所

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

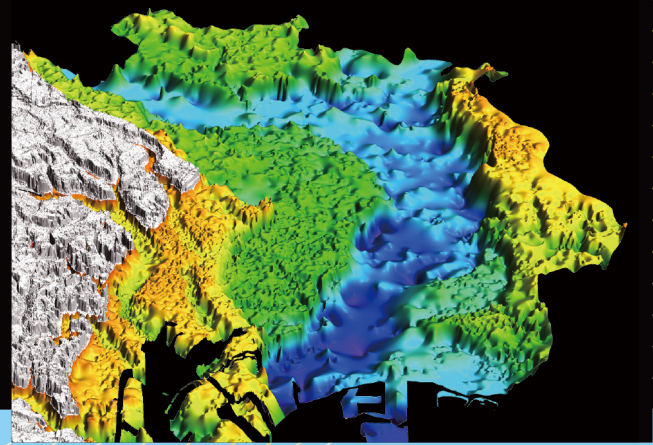
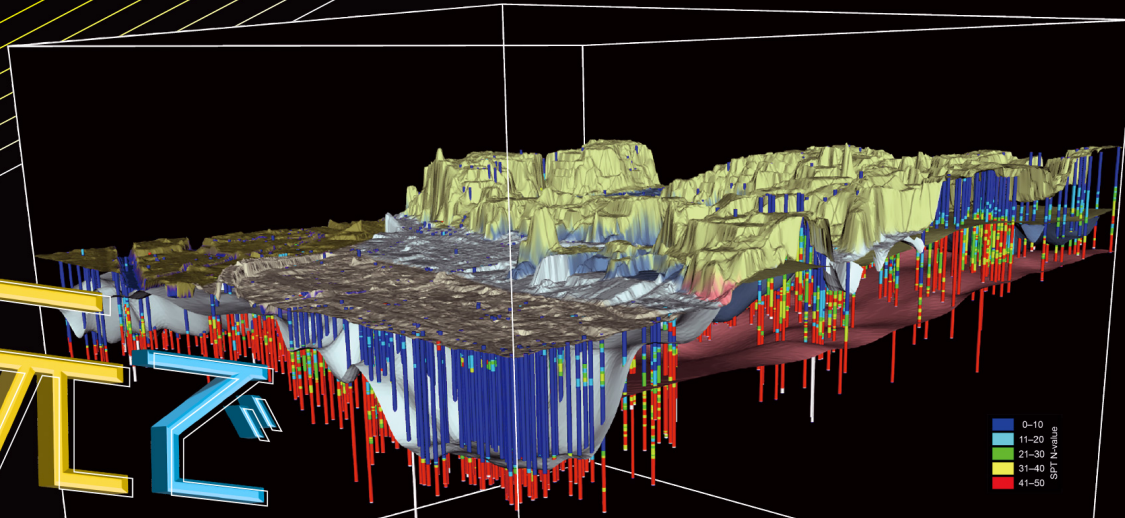
地圏資源環境研究部門 研究成果報告会事務局

mail : M-gsj-symposium35-ml@aist.go.jp



第36回
地質調査総合センター
シンポジウム

3次元で 解き明かす 東京都区部の 地下地質



2022年

2月25日 金

13:00-16:55 (12:45 開場)

オンライン開催

主催：GSJ 国立研究開発法人
産業技術総合研究所
地質調査総合センター

共催：産業技術連携推進会議 地質地盤情報分科会

後援：(一社)全国地質調査業協会連合会、
(一社)東京都地質調査業協会、
(一社)不動産協会、日本第四紀学会、
(一社)日本地質学会

CPD：3.5単位 (ジオ・スクーリングネット)

事前
登録制
参加費
無料

事前登録、講演の
詳細はウェブで▶

[https://www.gsj.jp/researches/
gsj-symposium/sympo36/](https://www.gsj.jp/researches/gsj-symposium/sympo36/)



講演プログラム

- 【基調講演】
東京都区部の地質地盤調査の歴史と3次元地質地盤図への期待
..... 中山俊雄 (東京都土木技術支援・人材育成センター)
- 3次元地質モデルを用いた東京都区部の地質情報整備
..... 野々垣 進 (産総研 地質情報研究部門)
- 【基調講演】前孤海盆としての関東平野と上総層群
..... 鈴木毅彦 (東京都立大学)
- 東京都区部の台地を構成する地層の年代と層序：東京層と下総層群
..... 納谷友規 (産総研 地質情報研究部門)
- 東京低地の沖積層：詳細にわかった基底地形
..... 小松原純子 (産総研 地質情報研究部門)
- 東京都区部の地盤震動特性と地盤構造：常時微動に基づくモデル化
..... 長 郁夫 (産総研 地質情報研究部門)

お問
い合
わせ

地質調査総合センター 第36回 GSJ シンポジウム事務局
✉ M-gsj-symposium36-ml@aist.go.jp
〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 7

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 杉田創
児玉信介
戸崎裕貴
森田雅明
宇都宮正志
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第10巻 第12号
令和3年12月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : SUGITA Hajime
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
MORITA Masaaki
UTSUNOMIYA Masayuki
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 10 No. 12
December 15, 2021

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



北アルプス最北部の縦走路である梅海新道は、1971年に全線開通し今年 2021 年は 50 周年にあたる。新潟県糸魚川市親不知海岸の海拔 0 m を始点(起点)として、新潟-富山県境に沿って、標高 2,418 m の朝日岳の手前にある終点(高位起点)の吹上のコルに至る。写真は、2020 年 9 月にドローンを使って上空から南に向かって吹上のコル周辺を撮影したものである。写真の手前左側にある池は照葉の池、中央部の山が朝日岳である。さらに左奥には、雪倉岳・旭岳・白馬岳・小蓮華山など 3,000 m 級の山々が連なる。

(写真：小河原孝彦 フォッサマグナミュージアム・
文：伊藤 剛 産総研地質調査総合センター 地質情報研究部門)

Drone's view of Tsugami-Shindo, which turns half a century in 2021 from the opening, along the boundary between Niigata and Toyama prefectures, central Japan.
Photo by OGAWARA Takahiko, Caption by ITO Tsuyoshi